

教育に関する事務の管理及び執行状況の 点検及び評価報告書（令和5年度分）

津久見市教育委員会

は じ め に

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定により、平成20年4月1日から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

津久見市教育委員会では、今後の効果的な教育行政の推進を図るとともに、市民への説明責任を果たすことを目的として、第5次津久見市総合計画（2021年改訂版）に掲げた教育委員会関係の施策について、目標数値や実績を示しながら毎年、津久見市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況についての点検及び評価を実施しています。今回、前年度分の点検及び評価の結果のほか教育委員会の会議の開催などを報告書としてまとめ、公表するものであります。

本報告書により、津久見市教育委員会の事務・事業に対しまして一層のご理解を深めていただくとともに、本市の将来を担う「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」のために、ご支援、ご協力を賜りますようお願いいたします。

津久見市教育委員会

目 次

I 点検・評価にあたって

1	津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針	・・・	2
2	点検及び評価報告書の作成	・・・	3
3	教育委員会の組織	・・・	3～ 4
4	教育委員会の開催状況	・・・	4～ 5
5	学校訪問	・・・	6
6	活動実績	・・・	6
7	総合教育会議の開催	・・・	6

II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

1	施策の体系	・・・	6～ 7
2	施策の方向	・・・	7～ 8
3	各施策の点検及び評価		
(1)	学校教育の充実	・・・	9～17
(2)	社会教育の充実	・・・	18～21
(3)	スポーツ・レクリエーション活動の推進	・・・	22～23
(4)	青少年の健全育成	・・・	24～27
(5)	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	・・・	28～31

I 点検・評価にあたって

1 津久見市の教育に関する事務の点検・評価の基本方針

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条に基づき、津久見市教育委員会が実施する「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」について、次のとおり行うものとする。

(1) 評価の時期・対象

毎年度、教育委員会が前年度に実施した事務事業において、下記(2)の①及び②の項目について点検・評価を行う。

(2) 点検・評価の項目

① 津久見市総合計画における教育委員会所管項目の「施策」について点検・評価を行う。

ア テーマ毎に「施策の方向」を設け、「計画内容及び主要な施策」ごとに当該年度の具体的な実施状況を点検・評価する。

イ 当該年度の進捗状況を目標値と比較し、AからEまでランクを付けて評価を行う。

② その他、教育施策上の重要課題

(3) 点検・評価の指標

点検・評価を行うに当たっては、津久見市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会委員による同意見交換会の知見を活用するものとする。

(4) 点検・評価のスケジュール

- ・ 2 月 当該年度事務のマネージメントシートを更新（自己点検・評価）
- ・ 3 月 市総合計画進ちょく状況に係る意見交換会による点検・評価
- ・ 6 月～8 月 報告書の作成
- ・ 9 月 教育委員会定例会で報告書を決定（議決）
- ・ 10 月 市議会に報告、公表

(5) 市議会への報告、公表について

① 市議会への報告

教育委員会が決定した点検・評価の報告書は、市議会に提出するものとする。

② 公表の方法

点検・評価結果の報告書は、市議会に提出した後、教育委員会のホームページで公表する。

(6) 点検・評価結果の反映

点検・評価結果については、教育行政に適切に反映させ、教育行政の運営の効率化及び質の向上を図るものとする。

(7) その他

点検・評価の項目、報告書の様式、市議会への提出（報告）の方法等については、各教育委員会が実情を踏まえて決めることになっているため、市議会や委員会、市の意見を参考にしながら随時改善していくこととする。

2 点検及び評価報告書の作成

「第5次津久見市総合計画（2021年改訂版）」（令和3年度～令和7年度）に掲げる基本計画第2章「郷土を想う心の豊かなひとを育てるまち」第1節学校教育の充実、第2節社会教育の充実、第3節スポーツ・レクリエーション活動の推進、第4節青少年の健全育成、第5節地域文化の伝承と芸術文化活動の充実にかかる事務事業ごとに、令和5年度中の活動状況を点検し、これを評価する方法により実施する。

（1）記入方法

- ① 施策名・・・・・・総合計画の「施策名」を記入する。
- ② 施策の方向・・・・・・総合計画の「施策の方向」を記入する。
- ③ 計画内容及び主要な施策・・・・・・総合計画の「計画内容及び主要な施策」を記入する。
- ④ 課題等・・・・・・昨年度から引き続き課題等となっているものを記入する。
- ⑤ 取組状況等・・・・・・実際に行った取組状況等を記入する。

（2）施策指標の評価

目標値に対する進ちょく状況の「評価」を次の区分により記入する。

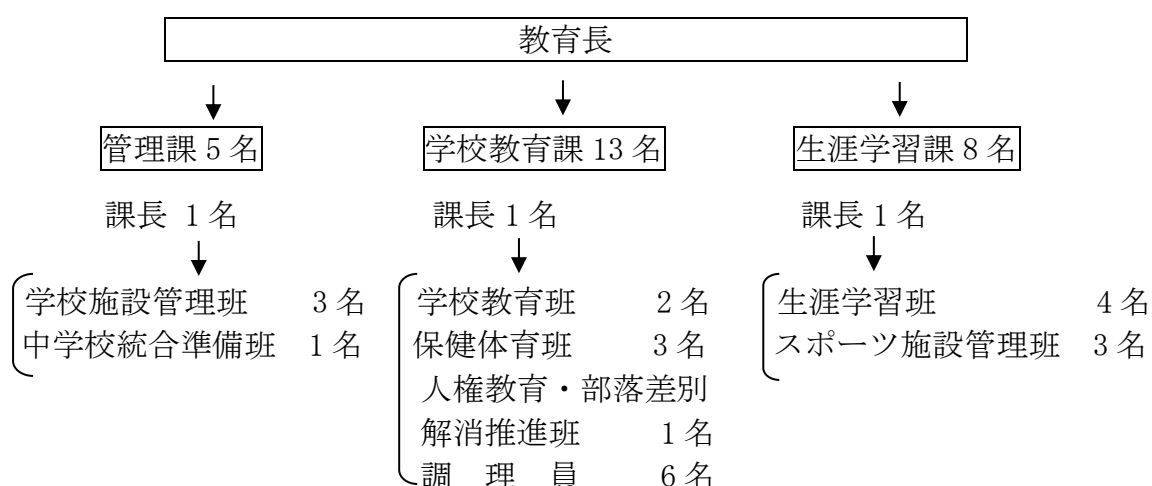
- A：目標値に達成した（100%）
 B：概ね目標値に達成した（100%未満～75%以上）
 C：目標値に達成していない部分がある（75%未満～50%以上）
 D：ほぼ目標値に達成していない（50%未満～25%以上）
 E：全く目標値に達成していない（25%未満）

3 教育委員会の組織

（1）教育委員会委員

職 名	氏 名	就任年月日	任 期
教 育 長	平 山 正 雄	平成 25 年 11 月 9 日	令和 2 年 11 月 9 日 ～令和 5 年 11 月 8 日
教 育 長	後 藤 榮 一	令和 5 年 11 月 9 日	令和 5 年 11 月 9 日 ～令和 8 年 11 月 8 日
教 育 長 職務代理	金 田 貞 喜	平成 27 年 10 月 1 日	令和元年 10 月 1 日 ～令和 5 年 9 月 30 日
教 育 長 職務代理	深 井 辰 海	平成 30 年 10 月 1 日	令和 4 年 10 月 1 日 ～令和 8 年 9 月 30 日
委 員	佐 藤 裕 子	平成 28 年 12 月 7 日	令和 2 年 12 月 7 日 ～令和 6 年 12 月 6 日
委 員	田 島 岳 自	令和 2 年 12 月 7 日	令和 2 年 12 月 7 日 ～令和 6 年 12 月 6 日
委 員	甲 斐 みどり	令和 5 年 10 月 1 日	令和 5 年 10 月 1 日 ～令和 9 年 9 月 30 日

(2) 教育委員会事務局の組織



4 教育委員会の開催状況

期 日	議 案 等
4 月 25 日 (定例会)	議案第 1 号 津久見市文化財保存活用地域計画作成協議会の設置について 議案第 2 号 津久見市文化財保存活用地域計画作成委員会委員の委嘱について 議案第 3 号 津久見市教育委員会会議規則の一部改正について 議案第 4 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 5 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
5 月 25 日 (定例会)	議案第 6 号 津久見地区教科用図書選定委員会設置要綱の制定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
6 月 26 日 (定例会)	議案第 7 号 津久見市奨学資金に関する条例施行規則の一部改正について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
7 月 24 日 (定例会)	議案第 8 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 9 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
8 月 25 日 (定例会)	継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
9 月 25 日 (定例会)	議案第 10 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 11 号 財産の取得について（津久見市共同調理場（増築部分）用備品一式の購入） 議案第 12 号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について 継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
10 月 25 日 (定例会)	継続協議 第一中学校・第二中学校統合についての協議
11 月 27 日 (定例会)	議案第 13 号 津久見中学校通学路・通学手段の決定について 議案第 14 号 津久見市立学校通学区域設定規則の改正について 議案第 15 号 津久見市遠距離児童生徒通学費補助等実施要綱の改正に

	議案第 16 号 について 工事請負契約の締結について（津久見市新設中学校開校に伴う津久見市立第一中学校校舎長寿命化改修等（建築主体）工事） 議案第 17 号 工事請負契約の締結について（津久見市新設中学校開校に伴う津久見市立第一中学校校舎長寿命化改修等（電気設備）工事）
12 月 25 日 （定例会）	行事報告等
1 月 25 日 （定例会）	議案第 18 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 19 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 20 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 21 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 22 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 23 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 24 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 25 号 区域外通（就）学児童生徒の特例の認定について 議案第 26 号 津久見市使用料条例の一部改正について 議案第 27 号 他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について
2 月 28 日 （定例会）	議案第 28 号 津久見市学校給食費負担軽減等補助金交付要綱の改正について 議案第 29 号 令和 6 年度当初予算案の概要について
3 月 25 日 （定例会）	議案第 30 号 津久見市学校運営協議会規則の一部改正について 議案第 31 号 津久見市立学校管理規則の一部改正について 議案第 32 号 津久見市奨学資金に関する条例施行規則の一部改正について

5 学校訪問

期 日	訪 問 先	出席委員
5 月 15 日	津久見小学校、学校支援センター、堅徳小学校	金田委員、佐藤委員 深井委員、田島委員
5 月 17 日	第一中学校、第二中学校	
5 月 18 日	第一中学校、第二中学校	
5 月 19 日	保戸島小中学校	

6 活動実績

期 日	行 事 等	出席委員
5 月 23 日	大分県市町村教育委員会連合会総会（九重町）	深井委員
1 月 7 日	二十歳のつどい	深井委員、佐藤委員、 田島委員、甲斐委員

7 総合教育会議の開催

期 日	協 議 事 項	開催場所
3 月 13 日	1. 津久見市小中学校の2学期制について 2. その他	津久見市教育委員会 2階会議室

出席者：市長、教育長、教育委員4名

II 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価

1 施策の体系

施策名	計画内容及び主要な施策	施策指標	担当課	シートNo.
学校教育の 充実	確かな学力を育む教育の 推進	全国学力調査平均正答率との差 （中学校3年生国語）	学校教育課	1-1-①
		全国学力調査平均正答率との差 （中学校3年生数学）	学校教育課	1-1-②
	健やかな体を育む教育の 推進	体力・運動能力調査 小学生 全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-①
		体力・運動能力調査 中学生 全国平均以上の割合	学校教育課	1-2-②
	豊かな心を育む教育の推 進	人権・部落差別解消に係る研修会の 開催回数	学校教育課	1-3-①
	地域とともにある学校づ くり	学校・家庭・地域の「協働」に取り 組む学校数	学校教育課	1-4-①
		津久見高校との連携強化による市内 からの進学率	学校教育課	1-4-②
	教育環境の整備	学校施設の計画的整備	管理課	1-5-①
		I C T（情報通信技術）支援員 の派遣	管理課	1-5-②

社会教育の 充実	学習機会の創出	公民館利用状況	生涯学習課	2-1-①
		公民館教室数	生涯学習課	2-1-②
	市民に愛される図書館づくり	蔵書貸出人数	生涯学習課	2-2-①
	学術交流活動の推進	地質資源の講演回数	生涯学習課	2-3-①
スポーツ・ レクリエー ション活動 の推進	生涯スポーツ・レクリエーションの推進	総合型地域スポーツクラブ参加人数	生涯学習課	3-1-①
	競技スポーツの強化推進	施設利用件数	生涯学習課	3-2-①
青少年の健 全育成	健全な家庭環境づくり	非行少年等の補導件数	生涯学習課	4-1-①
	学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動	子ども連絡所設置箇所数	生涯学習課	4-2-①
		土曜寺子屋つくみ塾参加人数	生涯学習課	4-2-②
	青少年の見守り活動の充実	あいさつ運動の実施回数	生涯学習課	4-2-③
地域文化の 伝承と芸術 文化活動の 充実	市民の文化・芸術活動の支援	観劇会イベント参加者数	生涯学習課	5-1-①
		文化団体数	生涯学習課	5-1-②
	伝統文化及び文化財の保存と継承	指定文化財	生涯学習課	5-2-①
	文化施設の有効活用	市民会館利用状況	生涯学習課	5-3-①

2 施策の方向

施 策 名	施策の方向
学校教育の充実	幼児期の教育・保育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う極めて重要なものです。そのため、子どものことを第一に考えながら、質の高い教育・保育の提供、保護者や地域の教育力向上の支援を行うとともに、教育・保育の一体的な運営の推進を図ります。 学校教育においては、子どもたちが確かな学力、豊かな心と健やかな体を育成することのできる社会を実現するとともに、信頼される学校・特色ある学校づくりを進めるために、学校・家庭・地域が協働し、より一層、開かれた学校づくりを推進します。 さらに、「特色・魅力・活力ある学校づくり」に向けた第一中学校と第二中学校の統合を進めます。また、老朽化が進む学校施設については計画的な長寿命化を図り、安全で快適な教育環境の整備に努めます。
社会教育の充実	市民が生涯にわたって学び、生きがいや豊かな心を育めるよう学習ニーズを把握し、地域人材の活用によるカリキュラムの充実を図り、生涯学習環境を整えます。図書館については、玄関ホールの企画展示の活用等も合わせ、利用しやすい図書館づくりを推進します。 また、地質資源や文化財、さらには本市の基幹産業などに関する学習機会を提供し、市民誰もが郷土に誇りを持って地域振興に取り組む機運を醸成します。

スポーツ・レクリエーション活動の推進	市民が生涯にわたりスポーツ・レクリエーションに親しみ、その活動を通じて、心身ともに健康な生活が送れるよう地域に密着したスポーツ・レクリエーションの普及、啓発を促進します。また既存施設の改修や充実を図り、スポーツ交流の拠点施設を整備します。 競技スポーツの強化においては、各競技の指導者育成と選手強化を目的とした施策を推進していくことで地域の活性化を図ります。
青少年の健全育成	家庭教育は全ての教育の出発点であり、基本的倫理感や社会的マナー、自制心、自立心等を育成する上で重要な役割を果たすことを啓発し、健全な家庭環境づくりを推進します。 さらに、学校・家庭・地域社会が連携・協働によるネットワークの強化を図り、それぞれの機能を発揮し、その役割を分担しながら、今後の青少年たちの健全育成を推進します。
地域文化の伝承と芸術文化活動の充実	津久見市文化協会をはじめ、その他市民文化団体等と連携を図り、市民生活を楽しめる文化的環境づくりに向け、芸術に親しむ心の醸成や活動意欲の高揚のために、市民文化活動の支援や芸術文化鑑賞機会の拡大に努めます。 伝統芸能に関しては、後継者の育成を図るとともに、地域の伝統芸能保存団体や関係機関と連携を図り、保存・継承・活用に努めます。 文化財については、文化財保護法第 183 条の 3 に定められた、津久見市域における文化財の保存及び活用に関する総合的な計画（文化財保存活用地域計画）を作成し、地域ごとに特色ある文化財を総合的に把握するとともに、一体的な活用を図ります。

3 各施策の点検及び評価

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実			担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	確かな学力を育む教育の推進					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
全国学力調査平均正答率との差（中学校3年生国語）	+0.6%	-3.6%	-1.8%	%	%	0.0% 以上
評 価	A	B	B			
【説明等】 全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。						

2. 課題等

○全体の平均正答率は全国や県を下回る。 ○観点「知識・技能」は全国や県よりも小差ではあるが上回るが、「思考・判断・表現」を見ると全国よりも3.4%下回っている。特に「読むこと」に課題がある。 ○全国と比べて正答率に差があった問題は、文章表現の効果を問う問題であった。全国より10.2%県よりも7.7%低い結果であった。 ○津久見市全体として、観点でいうと「知識・技能」の問題は得点に結びつけている傾向にある。多くの生徒は、基礎的な学びを身に付けることができている。

3. 取組状況等

○単元で付けたい力を明確にする【読むこと】 →授業の終わりにどのような生徒の姿になれば良いのか明具体的にイメージする。 ・文章の構造と内容を捉え、自分の知識や様々な経験と結び付けて考えをまとめたり広げたり深めたりする。つまり、他者の考えと比較して共通点や相違点を明らかにしたり、一人一人の捉え方の違いやその理由などについて考えたりする学習活動について、単元計画を通して設定。 ○主体的に学びに向かう力の育成を意識した評価計画の作成 ・単元を通して観点「主体的に学習に取り組む態度」を効果的に位置づける。 ・1時間の中で自己決定の時間の確保をする。 ・授業者自身や子ども自身が振り返りの必要性を感じ取れるように振り返りの設定をする。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-1-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実			担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	確かな学力を育む教育の推進					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
全国学力調査平均正答率との差（中学校3年生数学）	-0.2%	+1.6%	+2.0%	%	%	0.0% 以上
評 価	C	A	A			
【説明等】 全国学力・学習状況調査は、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。						

2. 課題等

- 全体正答率は全国より2%、県より4%上回ることができている。
- 領域別正答率では「図形」以外の項目で全国を上回り、県よりは全ての項目で上回っている。
- 特に「データの活用」においては全国より6.9%高い結果となった。
- 領域「図形」における問題「空間における平面が同一直線上にない3点で決まることの理解」では、正答率が23.6%と低い結果であった。
- 正答率が高い一方で無回答率も高くなっており、学力の二極化が見られる。

3. 取組状況等

- 単元の評価計画の中で観点「主体的に学習に取り組む態度」を効果的に位置づける
 - ・「主体的に学習に取り組む態度」の観点を中心におき、評価規準を明確にする。付けたい資質能力を付けた具体的な子どもの姿をイメージした上で授業を実施する。
- 図形についての性質や位置関係を理解し、考察し、説明する表現活動
 - ・昨年に続いて「図形」領域では、「知識・技能」は得点を出せているものの、「思考・判断・表現」の観点で落としている傾向がある。理解したことを基に、図形の基本的な性質などを具体的に活用する場面を設定。同時に論理的に説明する学習活動の設定。
- 主体的に学びに向かう力の育成を意識した評価計画の作成
 - ・単元を通して観点「主体的に学習に取り組む態度」を効果的に位置づける。
 - ・1時間の中で自己決定の時間の確保をする。
 - ・授業者自身や子ども自身が振り返りの必要性を感じ取れるように振り返りの設定をする。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実				担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	健やかな体を育む教育の推進						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
体力・運動能力調査 小学生 全国平均以上の割合	57.3%	53.1%	70.8%	%	%	50% 以上	
評 価	A	A	A				
【説明等】 児童生徒の体力・運動能力等の現状を明らかにし、体育・保健体育授業の工夫・改善のための基礎資料とするとともに、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題の検証に活用する。また、児童生徒一人一人が体力・運動能力等に関心をもち、進んで自己の体力や能力に応じた体育的活動を実施するための動機づけとする。							

2. 課題等

○小学生(8種目) 全国平均以上の割合 70.8%(68/96種目)																			
学年	男子	全国平均以上の種目								学年	女子	全国平均以上の種目							
		握力	上体起	体前屈	反復横	Sラン	50m	立ち幅	ボール			握力	上体起	体前屈	反復横	Sラン	50m	立ち幅	ボール
1年生	5種目	○	○	○	○	○	○	○	○	1年生	8種目	○		○	○	○		○	○
2年生	5種目	○	○	○	○			○	○	2年生	3種目	○	○	○	○	○	○	○	○
3年生	4種目	○	○	○	○		○		○	3年生	4種目				○			○	○
4年生	7種目	○		○	○	○		○	○	4年生	3種目	○	○	○	○	○		○	○
5年生	3種目	○	○		○	○	○		○	5年生	2種目	○	○	○		○			○
6年生	4種目	○				○			○	6年生	3種目	○			○			○	○
男子合計 72.9%(35/48種目)										女子合計 68.8%(33/48種目)									

○運動が好きと肯定的に答えた男子が 93.5%、女子が 92.7%で、高い水準である。(小5)

○経験年数の浅い教員に、体育の授業づくりを伝えていく必要がある。

○男子は50m走、立ち幅跳び、女子は上体起こし、50m走に課題がある。

3. 取組状況等

○体育専科教員を活用した、授業改善及び授業力向上とともに、学習内容の日常化を図る。
○子ども同士の学びの場（見合い、教え合い等）を設定するなどの運動意欲の向上を図る授業づくりや、ICT機器を活用し、「振り返り」を位置付けた授業展開の推進。
○運動の日常化を図るための休み時間に運動遊びを実施、全校縦割り班活動、児童会行事と連携した学校独自の取組を推進。（日常の遊びが体力向上や行事に向けての練習等につながる工夫）
○各種取組・行事での記録を経年で保管することによって、自らの成長を実感できるようなファイリングの工夫。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-2-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実				担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	健やかな体を育む教育の推進						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
体力・運動能力調査 中学生 全国平均以上の割合	54.2%	31.2%	33.3%	%	%	50% 以上	
評 価	A	C	C				
【説明等】 児童生徒の体力・運動能力等の現状を明らかにし、体育・保健体育授業の工夫・改善のための基礎資料とするとともに、子どもの体力向上に係る施策の成果と課題の検証に活用する。また、児童生徒一人一人が体力・運動能力等に関心をもち、進んで自己の体力や能力に応じた体育的活動を実施するための動機づけとする。							

2. 課題等

○中学生(8種目) 全国平均以上の割合 33.3%(16/48種目)																			
学年	男子	全国平均以上の種目								学年	女子	全国平均以上の種目							
		握力	上体起	体前屈	反復横	Sラン	50m	立ち幅	ボール			握力	上体起	体前屈	反復横	Sラン	50m	立ち幅	ボール
1年生	4種目	○	○			○				1年生	1種目		○	○	○			○	
2年生	2種目	○	○						○	2年生	2種目	○						○	
3年生	2種目	○	○				○			3年生	4種目		○						
男子合計 37.5%(9/24種目)										女子合計 29.2%(7/24種目)									

○運動が好きと肯定的に答えた男子が 94.9%、女子が 82.0%で、高い水準である。(中2)

○すべての学年で全国平均を下回った種目が課題。(男子が体前屈・反復横跳び・立ち幅跳び、女子がシャトルラン・50m走・立ち幅跳び)

○朝食を毎日食べる生徒(中2)は、男子 82.1%、女子 64.1%であった。体力向上を目指す上で、朝食を食べる習慣の大切さを教えていく必要がある。

3. 取組状況等

○体力向上推進教員・体育主任を中心とした学校全体での「一校一実践」の推進。
○運動部活動との連携による日常的な運動習慣の構築と、運動部活動に加入していない生徒へのアプローチ。体育の授業を通して運動を楽しむ態度と生涯スポーツへの意欲化を図る。
○学校行事や生徒会行事と連携した運動好きな生徒を育てる取組や、ICT機器を活用しながら「振り返り」を位置付けた授業展開の推進。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-3-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実				担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	豊かな心を育む教育の推進						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
人権・部落差別解消推進に係 る研修会の開催回数	2 回	8 回	8 回	回	回	5 回	
評 価	D	A	A				
【説明等】 津久見市教育委員会では、あらゆる教育活動に人権教育を位置づけ、家庭や地域、関係機関等と連携を図りながら、子どもの目線に立った人権教育を推進している。また、人権問題を自らの問題として捉え、主体的に解決方策を考え、共により良く生きるために実践できる子どもの育成を目指している。							

2. 課題等

- 校内研修での時間の確保。
- 部落問題学習についての認識と実践不足。
- 仲間づくりや学級づくりについて、若手教員のスキルアップが必要。
- 家庭・地域と連携した人権・部落差別解消推進が必要。

3. 取組状況等

- 人権・部落差別解消教育研修会開催を計画的に実施するとともに、その充実を図る。
 - ①人権教育担当者会・・・・・・・・・・5月26日（金）
 - ・人権教育・部落差別解消推進課指導主事を招聘し、授業改善に取り組むことができた。
 - ②「臼杵市フィールドワーク」・・・・8月 9日（金）
 - ・臼杵市部落差別解消推進・人権啓発課の方々のご協力のもと実施することができた。
 - ③人権のまちづくり交流会・・・・・・・・8月 7日（月）
 - ④津久見市人権研修会・・・・・・・・・・8月30日（水）
 - ⑤津久見市5プランに係る公開授業・11月16日（木）
 - ・部落問題学習の公開授業を実施することができた。（第二中学校3年生）
 - ⑥津久見市人権フォーラム・・・・・・・・1月27日（土）
 - ⑦県人教オープン講座・・・・・・・・・・1月18日（木）
 - ・講師：都昌子さん（宇佐市立四日市北小学校）を招いて研修会を実施できた。
 - ⑧市人研研究大会・・・・・・・・・・・・・1月18日（木）

令和5年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-4-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実			担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	地域とともにある学校づくり					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
学校・家庭・地域の「協働」に 取り組む学校数	6 / 8 校	6 / 8 校	6 / 8 校	校	校	7 / 7 校
評 価	B	B	B			
【説明等】 各校で、地域と連携した特色ある取組が展開できている。						

2. 課題等

- 学校評価の結果をどのように分析し、どのように活用・発展させていくかに課題が残る。
- 課題解決に向けて、学校と家庭・地域とが連携して、どのように取組を進めていくかについて、課題等についての共通理解は深まっているといえる。今後は連携しての取組の充実を図る必要がある。
- 家庭・地域に主体性を持たせた取組を実行するまでには至っていないものの、学校行事等に対する協力体制は充実している。
- 学校からの説明が多く、熟議に至っていない現状がある。

3. 取組状況等

- 学校・家庭・地域の「協働」の柱である「学校運営協議会」の開催（年間3～4回）
- 家庭・地域と連携した各種行事については、新型コロナウイルス感染症が徐々に落ち着いてきたため、コロナ前のような集合しての協議も開催できるようになってきた。
- 地域人材や専門機関と連携した授業実践（総合的な学習の時間を中心に）については、内容によって規模を縮小したり形を変えたりしながらの実施となっている。
- 地域人材の活用を推進するための地域人材の発掘・育成を進める。

令和5年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-4-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実			担当課	学校教育課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	地域とともにある学校づくり					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
市内中学生の津久見高校への 進学率	34.2%	35.4%	30.9%	%	%	60%
評 価	C	C	C			
【説明等】 「津久見の子は津久見で育てる」ことをスローガンとして、津久見高校に対して進学・就職に対する支援を行っている。その旨、中学生やその保護者にも広く啓発し、一市一校である津久見高校の存続について、取組を強化するものである。						

2. 課題等

- 生徒数の減少による津久見高校定員の維持・確保について、学級数や学科等の検討を行い、それを県教育委員会へ要望を重ねていく必要がある。
- 津久見高校の魅力ある学校づくりの実践を広く小中学生や保護者に伝えていく必要がある。
- 進学実績、部活動の活動実績の向上、啓発として、津久見高校の実績を広く受験を控える生徒や保護者に伝える方法の検討が必要である。

3. 取組状況等

- 津久見高校地域振興協議会での各種取組の実施。
(①人材育成 ②小中高連携 ③情報発信 ④硬式野球部強化 の 各種事業)
- 市内の小学校や中学校と、各種行事等での交流。
(工業科生徒の出前授業、英検講座の開設、「つくみ蔵」の出店など)
- 津久見高校の英語科教員による、中学生への「英検チャレンジ」を津久見高校で実施した。中学生にとって津久見高校を見学する機会にもなった。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-5-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実				担当課	管理課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	教育環境の整備						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
学校施設の計画的整備	0 校	0 校	1 校	校	校	1 校	
評 価	E	E	A				
【説明等】 令和3年3月に策定した学校施設長寿命化計画に基づき学校施設の老朽化の状況等を把握し、 学校施設の計画的な整備を行う。							

2. 課題等

○小中学校長寿命化改良事業
 これまでの学校施設の現状は、安全・安心な教育環境を確保するために耐震化を最優先に進めてきましたが、その一方で、昭和50年代に建築された学校施設の老朽化が進んでいる。
 学校施設の大規模改修等に多額の予算が必要であり、交付金や地方債等の財源確保も重要である。
 津久見市公共施設等総合管理計画及び定期点検の結果等を踏まえながら計画的・効率的に事業を実施していく必要がある。
 ・第一中学校（昭和55年建築）令和5年度 校舎等改修工事が完了した。
 ・津久見小学校（昭和50年・昭和61年建築）
 ・千怒小学校（昭和53年・昭和63年建築）

3. 取組状況等

○中学校校舎等長寿命化改良事業
 令和6年4月の新設中学校開校に向けた、第一中学校校舎等長寿命化改良事業の校舎等改修工事が完了した。
 ○小学校校舎長寿命化改良事業
 津久見小学校・千怒小学校の校舎改修については、一斉に対応することは困難であるが、計画的・効率的に改修工事ができるよう、国の交付金や地方債等の財源確保を含め市長部局と協議を進めていく。令和6年度より千怒小学校の校舎等長寿命化改良事業に着手している。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 1-5-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	学校教育の充実			担当課	管理課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	教育環境の整備					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
I C T（情報通信技術）支援 員の派遣	各校 月 2 回	各校 月 2 回	各校 月 2 回	回	回	各校 月 2 回
評 価	A	A	A			
【説明等】 教員の I C T 機器の活用スキルの向上及び I C T 機器を最大限に活用した授業の推進を図る。						

2. 課題等

○ I C T教育の充実
GIGA スクール構想の推進により1人1台のタブレットと校内L A Nが整備され、I C Tを活用した情報教育が令和3年度から始まった。I C T（情報通信技術）支援員を派遣し、I C T機器を活用した授業の支援やI C T機器の効果的な活用を図るための教員へのサポート対応などを行っている。

3. 取組状況等

○ I C T（情報通信技術）支援員の派遣
I C T（情報通信技術）支援員は、各学校に毎月2回の派遣を行った。活動は、月ごとに提出される報告書により、各学校での業務内容の確認を行った。
管理課、学校教育課と定期的に業務内容等の検討を行い、授業においてI C T機器が効果的に活用できるよう進めるとともに、訪問時の支援の充実を図るため、教員との事前の打合せや連携等を密に行っている。

○ I C Tプロジェクト会議の開催
令和5年度は、3回会議を開催し、教員の研修や有効な活用に向けた課題などの情報共有、協議・検討を行い、教員のI C T活用指導力の向上やタブレットの効果的な活用に繋げている。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	社会教育の充実				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	学習機会の創出						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
公民館利用状況	926 回	1,033 回	1,050 回	回	回	1,490 回	
評 価	C	C	C				
【説明等】 大ホール、講義室、研修室、調理室、和室の利用回数							

2. 課題等

公民館は昭和 50 年に建設され、建物の老朽化が進んでいる状況。
利用者の方は、高齢者が多いため、2 階の教室の利用が減ってきている、また館内のバリアフリー化、障がい者向けのトイレの設置など環境整備が遅れており、利用者に不便をかけている現状である。
駐車場については狭く、多くの台数が止められない。公民館まつり等大きなイベント時には、近隣の企業に協力をいただき対応はしているが、駐車場の確保が課題である。
高齢者学級の「津愛大学」は、参加者の減により 5 年度末で解散となったため、今後の高齢者学級のあり方を検討する必要がある。

3. 取組状況等

公民館教室は地域住民にとって最も身近な学習拠点というだけでなく、交流の場として重要な役割を果たしており、新たな教室の開設をはじめ、各教室を開催している。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-1-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	社会教育の充実				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	学習機会の創出						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
公民館教室数	7 教室	10 教室	11 教室	教室	教室	15 教室	
評 価	D	C	C				
【説明等】 女性・成人・その他を対象とした、各公民館教室の開催回数							

2. 課題等

高齢者教室等人数が多い教室は、2階大ホールの使用となり階段しかないために、高齢者や障がい者の方に不便をかけている。

子どもから高齢者まで、利用者の声を聞いて、新しい教室の開催を心掛けているが、年間を通じて時間が合わない利用者も多く、なかなか教室の幅が広がっていない。（開催時間・開催内容の検討が必要）

教室を受講していない層へ働きかけるための事業計画・体制づくりが必要である。

3. 取組状況等

令和5年度実施教室

料理教室 書き方教室、似顔絵教室、切り絵教室 初心者のパン教室

がま口づくり教室 しめ縄作り教室、フレスコ画教室、親子料理教室、スマホ教室、

短期で開催している教室を含めて、新しいものを常に考えている。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	社会教育の充実			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	市民に愛される図書館づくり					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
蔵書貸出人数	36 人	36 人	36 人	人	人	50 人
評 価	C	C	C			
【説明等】 1 日当たりの貸出利用者数						

2. 課題等

図書館の1日当たりの利用者数・貸出冊数は、ここ数年横ばいとなっている。 要因としては、津久見市の人口自体が減少していることもあるが、テレビやインターネット、SNS等の発達・普及の影響も大きいと考えられる。 社会全体のデジタル化が進む中、図書館の全フロアにて利用者がスマホやタブレットを使用して無料でインターネットに接続し、調べものや学習ができるよう環境整備を行い、令和6年2月からフリーWi-Fiサービスを開始した。 図書館を取り巻く環境が変化し続ける中、時代に即したサービスの向上に努め、一人でも多くの市民に利用されるよう取組みを進めていく必要がある。

3. 取組状況等

○電子図書館サービス開始：令和3年3月～ ○インターネット予約サービス開始：令和3年3月～ ○移動図書館車の更新：令和4年3月 ○大分都市広域圏内公共図書館相互利用開始：令和5年4月～ ○フリーWi-Fiサービス開始：令和6年2月～ ○定例行事・企画展等： おはなし会、アニメ上映会、新刊・企画展示コーナー、玄関ホールの展示活用、就労情報の掲示、雑誌や本の無料配布、図書館まつり、こどもの読書週間・秋の読書週間行事 等 ○県内公共図書館、市内各学校との連携：相互貸借の活用、市内各学校への団体貸出、図書館見学・職場体験学習・インターンシップ受入 ○広報活動：図書館だより・こどもしつだより、市報、図書館ホームページ、チラシ配布
--

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 2-3-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	社会教育の充実				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	学術交流活動の推進						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
地質資源の講演回数	5 回	2 回	4 回	回	回	10 回	
評 価	C	E	D				
【説明等】 津久見の地質等に関する講演会等、学習機会の提供							

2. 課題等

津久見市には広大な石灰石鉱山を始め、長目の蛇紋岩や四浦の珪石・マンガンなど、多種にわたる鉱物や地質が点在しており、「網代島の宇宙塵」や「江ノ浦の隕石衝突の痕跡」等、世界的にも非常に貴重な地質資源もある。津久見市独自の魅力ある地質資源を教育に取り入れる一方で、地元地区と協力して周辺地域の環境の保全に努めるとともに、地球資源活用事業を推進して市内外に向けて情報発信をしていくことが今後の課題である。

3. 取組状況等

10 月 14 日 津久見商工会議所女性会主催による、「知ろう遊ぼう網代島～2億4000万年前の流れ星のカケラが眠る島～」が日代中学校グラウンド・網代島にて開催された。

「網代島体験学習」では、図書館ボランティア“たんぼぼ”により制作された網代島の紙芝居の読み聞かせの後に、スライドを使用した説明や現地説明を行った。

その他にも、自然環境に関心のある団体等からの依頼に応じて、市内全体の地形・岩石や網代島に関する講演や現地説明を行った。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	スポーツ・レクリエーション活動の推進			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	生涯スポーツ・レクリエーションの推進					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
総合型地域スポーツクラブ参加人数	202 人	184 人	195 人	人	人	250 人
評 価	B	C	B			
【説明等】 総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」参加人数						

2. 課題等

総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」が核となり、各スポーツ教室やイベント事業を行い、コミュニティの場を創生してくれている。

コロナ禍も落ち着きを取り戻し市民のスポーツに対するニーズが、徐々に高まりつつある現状の中、様々な手法を用いた情報発信が必要である。また、今後の部活動地域移行の受け皿の可能性として総合型スポーツクラブ「エンジョイつくみ」の存在は重要である。

しかし「エンジョイつくみ」自体も平均年齢が高いこともあり、活動継続を見込んでいくためにも地元企業やスポーツ関係者をうまく巻き込みつつ、母体となる「エンジョイつくみ」のスポーツ指導・育成者枠を増やしていくことが今後の課題となる。

3. 取組状況等

令和5年度は、16種目を開催し、延べ10,812人の参加があり令和4年度より1,234人の増加となった。スポーツによる健康増進・体力作りの必要性を様々な場面で周知できるよう今後も努めていきたい。

また津久見市ホームページにおいて、総合型地域スポーツクラブ「エンジョイつくみ」の会員募集の広報を行っているが、併せて「エンジョイつくみ」が主催するそれぞれの教室の周知も定期的に情報発信を行ってきた。今後も継続して行いたい。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 3-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	スポーツ・レクリエーション活動の推進			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	競技スポーツの強化推進					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
施設利用件数	5, 145 件	3, 980 件	4, 822 件	件	件	5, 200 件
評 価	B	B	B			
【説明等】 総合運動公園内の各施設、武道館、市内 3 グラウンドの利用件数						

2. 課題等

市民体育館照明のLED化や市民野球場の応援席改修等様々な箇所を改修・維持管理していく必要がある。利用主体となる市民に不具合が生じないよう緊急性や重要性を勘案しながら計画的に改修整備を進めるとともに、利用料の減額等含め利便性の向上を図る必要がある。

また、維持管理費の財源確保としてのネーミングライツ制度導入や宝くじ助成金の活用等も含め、様々な手法を駆使し維持管理費の財源確保に努める。

競技スポーツの強化については、地元から将来のトップアスリートを育成していくために著名なアスリートを招聘し、子ども達が身近で接する機会を創出できる事業や、スポーツ熱の高い市民性に合致した一同で応援し機運を醸成する場の創出等、新たな事業の予算化が必要となる。

3. 取組状況等

施設利用件数については、令和4年度より増加しスポーツニーズの高さを表す結果となった。なかなかコロナ禍以前のようにV字回復は難しいかもしれないが、なだらかに上昇していけるよう引き続き周知に努める。

施設整備については、市民野球場グラウンド芝境界部分修繕、総合運動公園浄化槽改修工事、市民体育館ベンチ床改修を行った。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	健全な家庭環境づくり						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
非行少年等の補導件数	0 件	0 件	4 件	件	件	0 件	
評 価	A	A	E				
【説明等】 津久見市在住の青少年が補導された数							

2. 課題等

津久見市青少年健全育成市民会議を中心に、青少年に関わる大人の意識醸成や地域ぐるみで青少年を見守るための環境づくりを進め、非行少年等の補導件数ゼロを目指していく。

また、近年ではスマートフォンやSNSの急速な普及によってインターネット利用環境が一層多様化し、青少年が有害な情報に簡単に触れうる機会も増えている。また、県下ではインターネットを介して見知らぬ他人との接触機会が生じた結果、自画撮り被害などのトラブルや犯罪に巻き込まれてしまうケースも出てきている。こうしたネットトラブルやそれに起因する犯罪から青少年を守るためにも、学校・家庭・地域が連携し、インターネットの正しい使い方や通信機器の使用上のルールを呼びかけて徹底するなど、常日頃からの啓発が重要である。

3. 取組状況等

1. イベント時の見守り活動

各学校のPTAや幹部交番が見守り活動を実施。

2. 津久見市青少年健全育成市民会議総会

例年、地域で青少年を見守るための取り組みについて、市内の青少年関係団体と確認を行った。総会後に下記のとおり研修会を開催した。

演 題：「いじめ・不登校等の状況と教育相談体制の充実」

講 師：大分県教育庁 学校安全・安心支援課 参事（総括） 山本 哲也 氏

3. 子どもの安全を考える市民講演会

開催日：令和5年11月28日（火）

演 題：「生きづらさや困難を抱えるこども・若者」

講 師：特定非営利活動法人 おおいた子ども支援ネット 理事長 矢野 茂生 氏

参加者：37 名

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
子ども連絡所設置箇所数	304 か所	281 か所	254 か所	か所	か所	330 か所	
評 価	B	B	B				
【説明等】 子どもが困った時にいつでも助けてくれる家庭や店舗・施設等の数							

2. 課題等

地域のどの場所に子ども連絡所があるのかについて、周知の幅を広げて子ども・大人双方に存在を広く浸透させる必要がある。また、子どもが地域でのびのびと育っていけるよう、関係各所と連携して、子ども連絡所として協力していただける家庭や事業所を増やしていくことが必要である。

3. 取組状況等

津久見市防犯暴力絶滅対策協議会・津久見市連合PTA・津久見市青少年健全育成市民会議・臼杵津久見警察署が連携して取り組んでいる。

○令和5年度の子ども連絡所箇所数（内訳）

- ・第一中学校区…131 か所（津久見小、千怒小、第一中）
- ・第二中学校区…117 か所（堅徳小、青江小）
- ・離島…6 か所（＝保戸島小）

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	青少年の健全育成				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	学校教育と連携した地域ぐるみの育成活動						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
土曜寺子屋つくみ塾参加人数	18 人	26 人	33 人	人	人	100 人	
評 価	E	D	D				
【説明等】							
子どもたちの学習習慣の定着と基礎学力の向上を目指して地域ぐるみで取り組むもの							

2. 課題等

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着いたことから、数年ぶりに1学期から事業を開始することができた。 子どもの数自体が減っていることもあり参加人数は微増にとどまっているが、その分講師が子どもたち一人ひとりに目を配り、丁寧な指導を行うことができています。 その結果、1月に実施した漢字検定の合格率は85%、2月に実施した算数検定の合格率は90%と非常に高く、子どもたちの学習意欲や基礎学力の向上に十分な成果が得られた。今後も継続して事業が行えるよう学校や地域住民、関係機関と協力し、講師の人材確保や事業内容の工夫に努め取り組みを進めていく。
--

3. 取組状況等

対 象：	津久見市内の小学校3～6年生
内 容：	国語と算数の補充学習 ※例年は、漢字検定・算数検定のチャレンジに向けた学習
講 師：	地域住民、大分大学の学生
場 所：	各小学校の空き教室、津久見市公民館 ※例年は、保戸島小学校を除く市内4小学校
実 施 数：	通常の学習支援活動は8回実施（原則第3土曜日の10：00～12：00） 漢字検定1月20日実施（26人受検、合格率85%） 算数検定2月17日実施（21人受検、合格率90%）

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 4-2-③

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	青少年の健全育成			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	青少年の見守り活動の充実					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
あいさつ運動の実施回数	月 1 回 8月を除く	月 1 回 8月を除く	月 1 回 7・8月を 除く	回	回	月 1 回
評 価	A	A	A			
【説明等】						

2. 課題等

地域社会における青少年の健全育成活動推進のため、青少年健全育成推進協議会へ補助金を交付し、相談体制や啓発活動の充実を図るとともに、学校・家庭・地域が連携し、青少年の見守り活動を行っている。

今後も児童生徒の登下校時の安全を確保するための見守りやあいさつ・声かけ運動、青少年の非行防止に向けた相談体制・啓発活動の充実を図るとともに、関係機関や学校、家庭が連携・協同を図り、青少年の健全育成に努めていく必要がある。

3. 取組状況等

毎月第3金曜日（7・8月を除く）に、市内20箇所において、市内各学校の校長や教頭、教員、生徒、PTA等の各委員、区長等を中心にあいさつ運動を実施した。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実			担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	市民の文化・芸術活動の支援					
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値
観劇会イベント参加者数	488 人	673 人	841 人	人	人	1,200 人
評 価	D	C	C			
【説明等】 2つの公演の入場者数の合計						

2. 課題等

これまでどおりの安価な料金で会員のニーズに合った催し物の選定が求められる一方で、決算時には赤字にならないような料金設定も考える必要がある。また、魅力的な事業を提供することで新規会員の確保を目指していくことも重要である。
--

3. 取組状況等

○「綾小路きみまろ爆笑スーパーライブ」 令和5年8月11日（金・祝）14：00～市民会館大ホール 入場者数 498 名 入場料 4,000 円（全席指定） ○「劇団とんぼ座公演」 令和6年1月28日（日）14：00～市民会館大ホール 入場者数 343 名 入場料 2,000 円（全席指定）

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-1-②

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	市民の文化・芸術活動の支援						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
文化団体数	26 団体	24 団体	24 団体	団体	団体	32 団体	
評 価	B	B	B				
【説明等】 市文化協会加盟団体数							

2. 課題等

人口減少に伴い、会員の高齢化と若年層の団体活動が希薄になっており、会員の減少が進んでいる。 活動のPR や広報を通して、個人・団体会員の拡大と、新たな分野の芸術文化活動の充実や「青少年、次世代の支援」と文化に触れる機会の提供などが必要。
--

3. 取組状況等

新型コロナウイルス感染症による制約が緩和されたことにより、活動も再開可能となり、5/3の春の文化祭「5月のそよ風」コンサート、11/11～12に第53回文化祭を開催した。 新規の取組として、2/4文化芸術鑑賞事業を芸術キャラバンを活用して開催した。 加盟団体数に関しても、1団体が脱退したが、新たに1団体が加入した。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-2-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	伝統文化及び文化財の保存と継承						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
指定文化財	36 件	36 件	36 件	件	件	40 件	
評 価	B	B	B				
【説明等】 指定文化財数							

2. 課題等

文化財については、ひとつの文化財を単独で捉えるだけでなく、歴史・民族・自然などを地域の中で位置づけ、総合的なものの中で見ていくことが重要視されており、これまで地域の文化財マップ等を設置してきた。今後も地域の文化財や自然を総合的に捉える取組を継続していくことが重要。また、少子化や高齢化、社会環境・生活環境の変化で価値観が希薄になり、維持、保護が困難になりつつあるため、指定文化財を中心として管内の文化財の現状を把握し、保護に努めることが重要。

伝統芸能については、少子高齢化の進展に伴った後継者不足により保持団体の維持が困難になっているので、後継者の育成が重要課題。また、用具や衣装等の購入のための資金調達のむずかしさもうかがえるため、保持団体と協議しながら順次助成に向けた取組を継続していくことが重要。

3. 取組状況等

文化財	・大友宗麟墓地剪定作業、姥目のウバメガシ・姥目公園ウバメガシ治療保全事業
伝統芸能	・令和3年度第一次補正予算事業「子供たちの伝統文化の体験事業」に津久見扇子踊り保存会が採択。 ・令和3年度文化芸術振興費補助金（地域文化財総合活用推進事業（地域の伝統行事等のための伝承事業））に堅浦地区の伝統文化を活用した地域活性化事業実行委員会が採択。
文化財保存活用地域計画	・令和5年度から令和7年度での作成を予定している。 ・現地調査協力員による現地調査（20回以上）、構成案や今後のスケジュール等の協議を行った。

令和5年度分 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書

シートNo. 5-3-①

1. 施策指標の進ちょく状況

施 策 名	地域文化の伝承と芸術文化活動の充実				担当課	生涯学習課	
計画内容及び 主 要 な 施 策	文化施設の有効活用						
施策指標の名称	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 7 目標値	
市民会館利用状況	1, 369 件	1, 583 件	1, 403 件	件	件	1, 600 件	
評 価	B	B	B				
【説明等】 会議室やホール等、会館の利用件数							

2. 課題等

令和5年度については、利用件数が前年度に比べ減少してはいるものの季節的なイベントによる増減である。今後も、利用者が、安心して利用できるよう引き続き基本的な感染対策や衛生管理に努める。

市民会館は、文化活動の成果発表や冠婚葬祭等の利用の場として大規模な人数を収容できる唯一の屋内施設であるため、今後はこれまで以上の文化イベントの促進や新たなイベントや団体誘致に向けた広報周知活動が必要となる。また、施設自体も平成27年以降に大規模改修を行い、利用しやすい環境は整っているものの、改修をしなかった箇所等の修繕が多くなっていることで、計画的な環境整備の充実を行い利用促進に繋げていくことが必要。

食堂部分の活用については、市内飲食店組合の会員にアンケート調査を実施して、有効活用を検討したい。

また、利用料金もかなり前から変更になっていないので、利用率向上を視野に入れた利用料金の設定も検討していきたい。

3. 取組状況等

平成30年度から文化協会加盟団体等に対して使用料減免制度を設け、利用者が利用しやすい会館づくりに努めてきた。

また、市民会館は平成27～30年度に全面改修を行い、エレベーター・トイレ・駐車場等が利用しやすくなった状態である。しかし突発的な不良部分や改修を行っていない箇所等の修繕が多くなってきており適宜対応していくためにも定期点検を含めた維持管理及び修繕計画に努める。